

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名:北九州市 建設局 道路部 街路課

事業の名称:北九州都市計画道路本城^{ほんじょう}弘川^{はらいがわ}線^{せん}街路事業

実施都市名:北九州市

事業の目的

都市計画道路^{ほんじょう はらいがわ せん}本城払川線は、副都心黒崎から本市の四大プロジェクトとして位置付けられている「北九州学術・研究都市」への重要なアクセス道路である。本路線を整備することにより、大学や研究機関等の施設の整備を促進するとともに、本市北西部の道路ネットワークの充実を図るものである。今回の整備区間1,720mの内、起点部から北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業の区域境までの807mの区間を街路事業として整備を行なった。

事業概要 (1)

事業名:北九州都市計画道路本城弘川線街路事業

路線名:本城弘川線

事業箇所:北九州市八幡西区本城二丁目～大字本城

事業延長:807m

幅員:25.5～30m(4車線)

総事業費:約5,900百万円

事業期間:平成9年～平成16年

事業概要 (2)

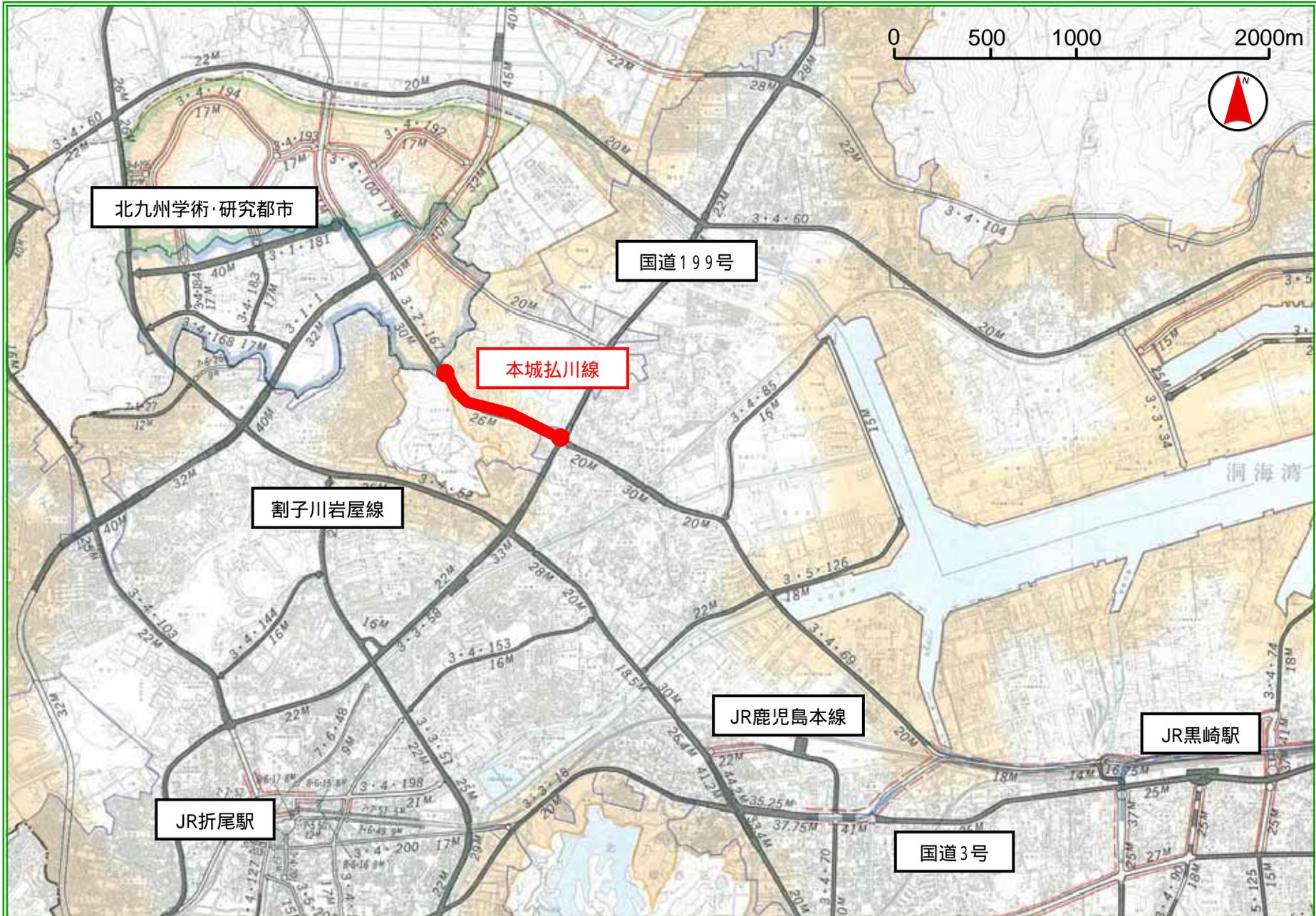
本路線は、市内最大の緑地保全地区である本城緑地保全地区内を通過することから、周辺への環境へ与える影響が最も小さくなるようにルートを選定し、整備延長807mの内、植生の回復を図るため491mの区間をトンネル構造としている。また池を通過する区間は、水辺の改変を避けるため橋梁形式(L=45m)採用している。

事業概要 (3)

トンネル上部の緑化復元については、平成14年から近隣の自治会等が周辺の森から種を拾い育てる活動が行なわれていた。これを発端に平成15年には地域住民と植栽活動を行い、平成16年には周辺の保育園・小学校等や市民に広く呼びかけ植栽イベントを行い約18,000本の苗木(現地に自生するカシ類・クスノキ・シイ等)の植栽を行なった。



事業位置図



本城弘川線の整備効果アピール資料

事業概要

事業名:北九州市都市計画道路
本城弘川線街路事業
路線名:本城弘川線
事業箇所:北九州市八幡西区本城二丁目
~大字本城

事業延長:807m
幅員:25.5m~30.0m(4車線)
総事業費:約5,900百万円
事業期間:H9~H16年度

交通量調査結果

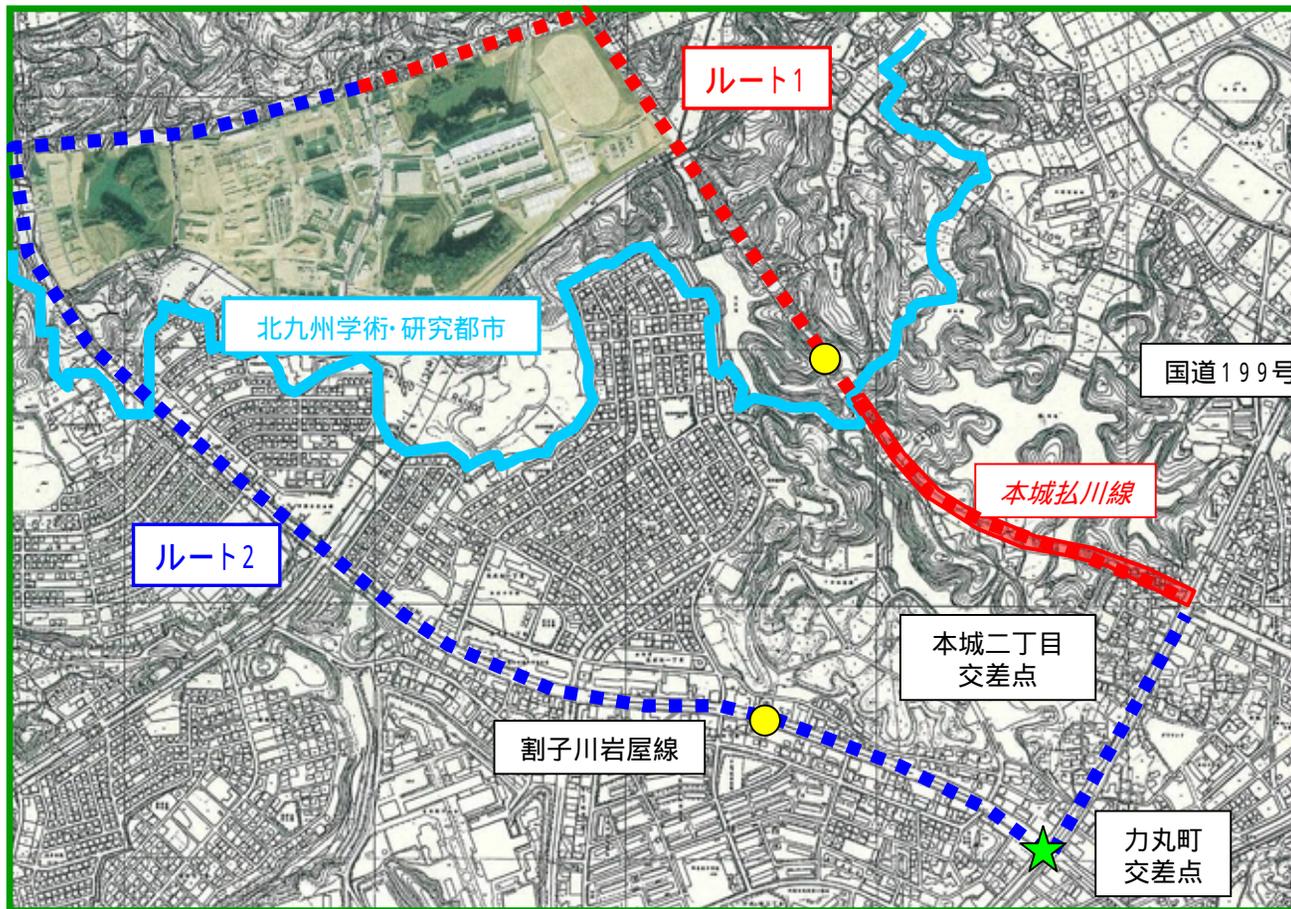
供用前 平成16年10月22日
供用後 平成17年 2月 9日

ルート1)
交通量 0 6,515台/12h
所要時間 3分間

ルート2)
交通量 24,938 20,129台/12h
所要時間 12分間

● 交通量測定地点

★ 滞留長の解消箇所



「整備効果」

本城二丁目交差点から北九州学術・研究都市までの所要時間短縮
12分 3分

周辺道路(割子川岩屋線)の交通量緩和
24,938 20,129(台/12h) 4809台(19.3%)減少

周辺の主要交差点(力丸交差点)における滞留長の緩和
(夕方ピーク時)**170m 130m 40m(23.5%)減少**



事業前写真

平成11年11月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業前写真

平成12年8月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影

